

守山探検隊 志段味中部コース

～巡見道と伝説の地を歩く～ 約3.8 km

a 自転車歩行者専用道路

(都市計画道路志段味線)

吉根中学校の北西側付近から東谷山の麓(予定)まで、自転車と歩行者のみが通行できる専用道路。

延長約5kmのうち志段味支所東側までの約3kmが整備されている。(2021年現在)

道路には、志段味中学校の生徒や地域の方が制作された「志段味カルタ」の絵タイルが設置されている。

b 六地藏とクロガネモチ

この野墓には多数の墓碑と地藏菩薩が三体ずつ向かい合う六地藏がある。墓地内にクロガネモチの樹があり、秋から冬にかけて赤い果実を無数につける。

c 諏訪神社

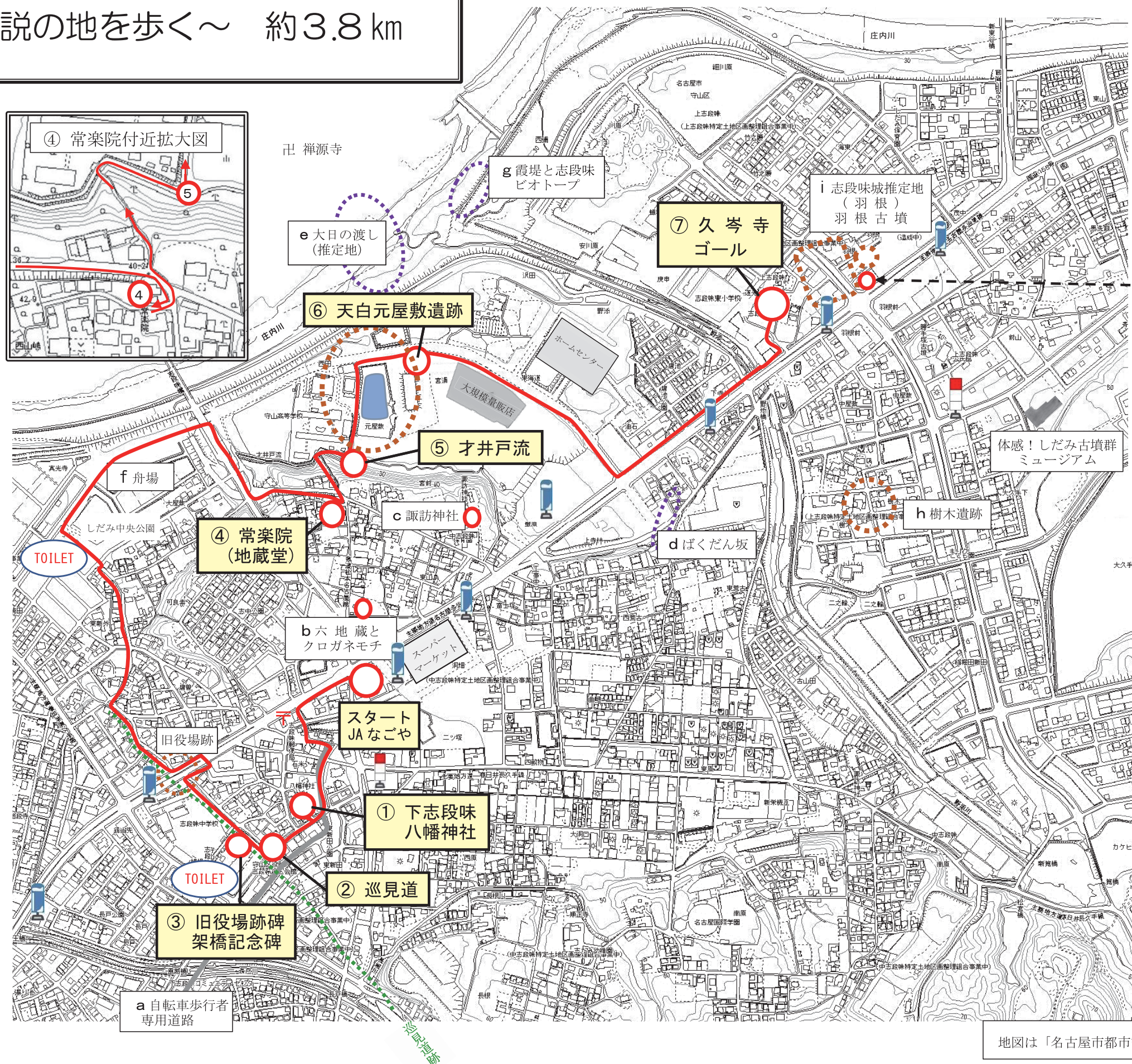
中志段味村の氏神で、創建の年は不明だが、寛文年間(1661-1673年)の書物「張州府志」に記載がある。

拝殿の右側には、立待月の廿二夜講に使われる廿二夜塔がある。(主に女人講)

夏には提灯山をともし盆踊りが行われている。

d ばくだん坂

1945年3月24日から25日にかけて行われたアメリカ軍による名古屋周辺地区への空爆(名古屋大空襲)で、爆撃機の帰路に、この辺りに21発の爆弾が投下された。死者は民間人12名。その後、この坂は「ばくだん坂」と呼ばれるようになった。



e 大日の渡し

かつては、上大留の大日堂(禅源寺)の前と中志段味との間で、参拝者を運んでいた。「小牧・長久手の戦」のおり、西軍の池田恒興・森長可隊が渡ったと伝わる。

f 舟場

大正時代の初め頃まで、この辺りに大日の渡しの船頭さんたちが住んでいた。庄内川の流れを利用した水運にも携わっていた。

かつて見た守山 銘板
龍泉寺街道から見た東谷山

守山区内にある五つの銘板の一つ。守山図書館前、小幡駅前、大森小学校東側、守山東中学校西側にもある。

g 霞堤と志段味ビオトープ

「霞堤」は堤防に切れ目を入れることで洪水時に濁流を遊水地に流入させ洪水の流量を減少させる仕組み。この遊水地に平成12(2000)年頃、志段味ビオトープが作られた。

h 樹木遺跡

後期旧石器時代の槍先型尖頭器や縄文時代の石鏃が出土した。(名古屋市博物館に展示)

i 志段味城推定地(羽根)

・羽根古墳

瀬戸水野村(愛知県瀬戸市)の豪族であり、志段味地区を支配した水野一族の水野又太郎良春が南北朝時代の康安元(1361)年、新居城(尾張旭市)に移る前の居城。寛政4年の村絵図に「はね屋敷 水野雅楽助城跡と申伝御座候」との記載がある。関ヶ原の戦い以降に廃城となったといわれる。

6世紀後半の円墳、羽根古墳(直径20m、高さ3m、1962年の調査後に消滅)を城の一部として使用したらしい。

地図は「名古屋市都市計画情報提供サービス 基本図」から引用